

キャラクター名
明石 零生(あかいし れお)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン モルフェウス		ワークス	FHチルドレンA	カヴァー	自警団員
	オプション		年齢	17	性別	男
覚醒	無知	衝動	憎悪	初期侵食率	33 %	
出自	安定した家庭	経験	ストリートキッズ	邂逅	欲望：平穩	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	2	1	0			3	行動値	7
感覚	3		0			3	(非装備時)	7
精神	1		0			1	戦闘移動	12
社会	2		0			2	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：走行	2		芸術：切断	2		知識：人体	2		情報：FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
インフィニティウエポン	白兵	3r+9	3	特殊		攻撃力：+[LV+7]

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
エンブレム：玩具使い	
コネ：親父さん	
コネ：要人への貸し カジュアル	
メモリー(家族/悔悟)	
メモリー(政府/憎悪)	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス：不死者	P 遺志	N 無関心		
GR：鷺沼秀	P 感服	N 不安		
YE：平穩	P 執着	N 恐怖		
雪城美樹	P 友情	N 隔意		
小鳥遊舞	P 連帯感	N 不安		
ツイスカ・ツイラ	P 庇護	N 嫌気		
直村正義	P 誠意	N 嫉妬		

最大財産P: 4 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
インフィニティウエポン	5	3	Mn	至近	自身	自動		
効果： 武器を作成する								
コンセントレイト：モルフェウス	2	2	Ma	-	-	Syn		
効果： C値-[LV](下限値7)								
咎人の剣	3	4	Ma	-	-	白兵	リミット	
効果： 攻+[LV*5]								
一閃	1	2	Ma	武器	-	白兵		
効果： [全力移動]後に[白攻]を行う								
砂の結界	1	2	Au	至近	自身	自動		
効果： カバーリングを行う MP1回復								
子羊の歌	3	4	Au	視界	単体	自動	100↑	
効果： ダメージ引き受け [LV]回復								
反撃の旋風	5	8	Au	効果	効果	自動	120↑	
効果： [LV*20]ダメージ 逆反射 1回復								
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動		
効果： あらゆる場所を走り抜ける								
蝙蝠の耳	★	-	Ma	至近	自身	自動		
効果： 聴覚領域を拡大する								
真偽感知	★	2	Ma	視界	単体	自動		
効果： 嘘を見抜く								
万能器具	★	-	Ma	至近	自身	自動		
効果： 日用品を作り出す								
無上厨師	★	-	Ma	至近	効果	自動		
効果： よく知っている料理を作り出す								
超人的代謝	★	-	常時	至近	自身	自動		
効果： 超人的な代謝機能を持つ								

平穩で、幸せな毎日だった。
僕はずっと、この生活が続くと思っていた。
忌まわしき、“震夜”が来るまでは。

気付いたら、僕の周りには誰もいなくなっていた。
いるにはいた。けれど、それは生きてはいなかった。
清々しいほど青いはずの空は、赤銅色に染まっていた。

それから、生きる為に等う毎日を繰り返していた。
何年か経ったある日、小学生程の幼い少年が現れた。
少年が何を言っているのか、俺には理解できなかったが。
辛うじて理解できたのは、FHという組織と、その組織の目的だけ。
どうやら彼は、俺をその組織に勧誘に来たらしい。

俺が“魔街”解放の為に活動を続けて、数年が経った。
その願望は、未だに果たされてはいないが、着実に進捗はしている。
マスターレイスの参入もあり、この調子ならば何れ解放へと辿りつけるだろう。
“魔街”を解放すれば、俺はこの街から脱出することができる。
この街から、脱出さえできれば……俺は……。